

おおい

かはら版

vol.49

巻 頭 言

暑い夏が過ぎ、朝晩は過ごしやすくなってきました。この時期は、夏の疲れが出る時期でもありますので、体調管理には十分注意しましょう。さて、今年の夏、私たちが更にアツくさせたのが、リオで開催されたオリンピックとパラリンピックでした。

アスリートが、全神経を集中させ、勝負の瞬間にかける姿は、力強さだけではなく、美しささえ感じました。次回は東京開催！更なる活躍を期待したいと思います。

さて、9月も最後の週となり、2016年度も上半期が終わろうとしています。理事会においても、上半期の事業の進捗状況を確認しながら、下半期に向けた準備を進めているところです。ホームページやフェイスブックで、各事業についてのご案内等を行っておりますので、そちらをチェックして頂き、ご参加頂ければと思います。

今年度の新たな取り組みの一つとして、「面接技法ワークショップ」を企画しました。このワークショップは野上前会長を講師に迎え、ソーシャル

ワーク面接の基礎を、全3回のコースで学びます。対象は経験年数1～3年の初任者が中心です。（会員の方であれば聴講は可能です）

面接は私たちの業務の根幹を成す業務である事と言うまでもありません。このワークショップにご参加頂く皆さまには、面接の基礎を集中的に学び、技術の向上を図る事で、MSWとして更にパワーアップして頂ければと思っています。

既に第1回目を9月25日に開催し、34名のご参加を頂きました。（ワークショップの様子は協会フェイスブックにも掲載しております）グループワークやロールプレイに真剣に取り組む皆さんの姿がとても印象的でした。

我々MSWにとって面接はクライアントと向き合う真剣勝負の場です。全神経を集中させ、感覚を研ぎ澄まし、クライアントと向き合う「その瞬間」に最高のパフォーマンスが出せるよう、共に技術を磨き続けましょう！

一般社団法人

大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 井元哲也

特別企画 対 × 談 あの人に聞きました。

野上 美智子さん

大分県医療ソーシャルワーカー協会元会長
スクールソーシャルワーカー



対談？インタビュー？広報部山本が独断で選んだ気になるあの人に話を聞いてきました。第1回目は元会長であり、現在スクールソーシャルワーカーとして活躍されています、野上美智子さんです。

・まずは MSW になったキッカケを教えてください。

野上（以下野）：社協のボランティアコーディネーターをしている時に知り合いの Dr から誘われました。（当時の資格は保育士、幼稚園教員）医療はつながりにくいって話してたんで、『医療との懸け橋』といったミッションをもって病院へ入りました。在宅医療連携事業とったのは、そのミッションの総仕上げだったんです。

・MSW を続けられた理由はなんでしょう？

野：続けられたのは人が面白かったからです。患者さんや、家族が面白かった。私小説が好きで、実際にもこんなことあるんだあって。

・病院に入って最初はどんな感じでしたか？

野：最初命の電話の講義を受けに行って夜何年か担当していました。それから学校に行って、帰ってきたのが介護保険が始まる年でした。実践する上でとにかくよかったのは、もともと子供の世界の人なので難しい言葉を使わず、わかりやすくゆっくり伝えるっていうのが身に着いていてよかったです。

・理論に基づいた実践を最初からなさってたのかと思ってました。

野：実践の人ですね。勉強するのも知りたいとか面白いとかまず好奇心ですね。

・認定社会福祉士を取ろうと思ったきっかけは何ですか？

野：人は肩書によって、人を見る目が変わるってこと。それを戦略的に知っておいた方がイイですよ。

社会福祉士ではなくて、認定社会福祉士、認定医療社会福祉士両方ありますよって、そうすると社会福祉士よりも一つマスターなんだって、講義とかはそれだけ

で相手が聞く姿勢になるんです。

・MSW として女性ならではの視点ってありますか？

野：生活に何が必要かが女の人はずぐわかると思います。家屋訪問とかで、冷蔵庫見ただけでいろんな課題が見えてきます。ただ大きな視点では男の人が長けていると思うので、それぞれをうまく使えばイイと思います。

・医療現場から離れて感じることは？

野：医療の現場はいいなあって思います。医療は解決志向なんです。何かを解決して終わるっていう援助だからスッキリするんですよ。地域とか福祉とか、学校もそうですけど支援志向なんです。だから終わりが無いんですよ。MSW は大変かも知れないけど、支援が終わるっていう部分では、ある種の達成感が感じられると思います。

・最後に後輩 MSW へ一言お願いします。

野：最終的には誠実なことだと思います。小手先でも支援てできるじゃないですか、そこそこ。でも最終的には人と人だから、シンプルに誠実であることが大事だと思います。高倉健じゃないけど自分も含めて人ってみんな不器用で、課題があってもイイと思うんです。全部ちゃんとは出来ませんよ。そこを私たちが少しだけお手伝いするわけでしょ？もちろん誠実であればあるほど傷つく事もあると思うけど、そこは死守しなくてはいけないと思っています。

・それは人生においても大事にしていますか？

野：自分の人生はそんなに誠実じゃないです（笑）

野上さん、ご協力ありがとうございました！

研 修 報 告

初任者研修及び面接ワークショップについて

9月10日にホルトホール大分にて第3回初任者研修会を行いました。今回の講師は当協会事務局長で佐賀県病院 MSW の川野壮彦さんより「ソーシャルワーカーに関わりが深い診療報酬について～MSW の援助過程～」の講義とソーシャルカフェ ネクストと題し、県内の急性期、回復期、その他療養型や在宅診療等慢性期を担当する計8医療機関

の MSW がそれぞれの機能や特色についてのプレゼンテーションを行い、より実践に近い形で社会資源について学んで頂きました。30名を越えるご参加をいただき、会場は満席での開催でした。

また、9月25日より面接ワークショップ全3回が開講いたしました。講師は当協会前会長の野上美智子先生です。こちらも30名を越える参加

があり、それぞれ日頃の面接を振り返りながら、技を磨くべく皆一生懸命ロールプレイに取り組まれておりました。参加者からは、明日からの面接で実践し、技術を向上させたいとの前向きな感想が多数聞かれました。次回12月、次回2月に開催予定です。興味のある方はどうぞご参加ください。 (研修部)



◇川野事務局長による診療報酬についての講義



◇面接ワークショップでのロールプレイ

報告！地区コミュニティ会議 東部北部編

MSWの顔が見える関係構築と、やりがいの再確認を目的とした「地区コミュニティ会議（地区コミ）&懇親会」を7月9日（土）別府市社会福祉会館で行いました。日田、佐伯、豊後大野に続き今年4回目の開催です。新人からベテランまで総勢22名の方に参加

頂いた今回も、テーマを「今思えば〇〇なこと」として、まずは、お茶やお菓子をつまみながら、自由に語り合っていました。リラックスした雰囲気の中で、仕事の時は見ることのできない意外な一面をそれぞれ語り合うことが出来たようです。その後に行われた懇親

会では元三愛メディカルセンター組が勢ぞろいし、昔話に花が咲いていました。毎回思うことですが、明日からまた頑張ろうという気持ちになりました。



恒例となりました懇親会後の記念撮影
(焼き鳥 母屋前にて)



10月8・9日（土・日）に開催されました。リレーフォーライフへのご協力ありがとうございました。スタートとゴールの時間は、とにかく暑くて快晴。他の時間帯はどしゃぶりの雨に、テントが吹っ飛びそうな風と、RFL始まって以来の荒天でしたが、無事に24時間タスキをつなぐことができました。

閉会式でサバイバー代表の方が、まさに癌との闘いのような天気だったと言われていましたが、なるほどなと考えさせられました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

（ネットワーク推進部）



◇当初は雨もなくのんびりとスタート



◇降ったり止んだり、かっぱ着用のウォーク



◇ゴール後の記念撮影。お疲れ様でした！

理事動向

- 5月27日 フードバンクおおいた設立総会参加（川野事務局長）
- 6月6日 第1回佐伯市高齢者にやさしい地域づくり協議会（山本理事派遣）
- 7月1日 宇佐市在宅医療・介護連携推進協議会委員（白田会員推薦）
- 7月7日 三職種合同講師派遣 - 羽室台高校 7/7（井元会長）
- 8月23日 平成28年度地域福祉コーディネータ - 養成研修会講師派遣（高橋副会長）
- 8月21日 全国会長会（東京）→井元会長
- 8月26日 大分県保健医療団体協議会実務者会議（三愛メディカル）→小城理事

NEW FACE （4/1現在の会員数 264名）

麻生 恵	大分岡病院	河野 あけみ	介護老人保健施設ゆふいん風香
加藤 まりん	大分岡病院	中嶋 竜也	済生会日田病院
秋吉 真次	杉村病院	本田 明美	畑病院
石井 文恵	一ノ宮脳神経外科病院	藤原 真理子	畑病院
渡邊 優有子	竹田医師会病院	深田 孝徳	日田中央病院
宇都宮 隆宏	大分赤十字病院	大庭 江梨奈	大分医療センター
尾崎 勇	大分東部病院	松山 修一	恵の生母の家
藤原 麻衣	大久保病院	小野上 智也	杵築中央病院

